

パティオを生かした家事動線で共働きを応援

北赤坂の平屋



▲ダイニング&キッチン、床がタイル張り、天井が板張り。無機質になりがちなタイルも、お気に入りの家具や照明を加えることで、生活感のある家庭的な雰囲気に。

◀造成と天井高のデザインを採用することで、周りの建物に圧迫されことなく、快適な居住空間を確保。



設計・監理 中道哲也 株式会社 スタジオパートナー

施工 巧細川組株式会社

撮影：アトリエワンデザインスタジオ 今西 浩文



ピロティから続く玄関はホールに面して開放的。そのまま土間収納にも繋がりが、大容量の収納スペースを確保。

外観で目を引く飛び抜けた天井高の場所がリビング。外からだと平屋には見えません。

対面キッチンではなく、あえて作業台をセット。休日には奥様の手料理で家族団らんのひとときを楽しみます。



リビングの天井高を生かして窓の位置を工夫。メインの採光は外からの視線が気にならないハイサイドから取り入れます。



リビングからダイニング・キッチン、洗面とすべての面に接したパティオ。家事動線にも組み込まれ、用途が広がります。



外部空間になるピロティを玄関前に配置。ご主人自慢のバイクも雨に濡れず、作業スペースにも打ってつけです。

新築工事スケジュール

〈基本設計期間〉
H25年7月～9月

〈実施設計期間〉
H25年10月～12月

〈見積もり依頼期間〉
H26年1月～2月

〈起工〉
H26年5月18日

〈上棟〉
H26年5月18日

〈完成・引渡し〉
H26年9月3日

住宅データ

家族構成／
ご夫婦、お子さん1人
構造／
木造在来軸組工法
建築面積／
128.36㎡(約38.83坪)
延床面積／
1F 111.79㎡(約33.82坪)
計 111.79㎡(約33.82坪)
敷地面積／
347.69㎡(約105.18坪)
屋根／
ガルバリウム鋼板
外壁／
軽量モルタル塗りの上、
リシン吹付

設計・監理



モットー 建て主・施工者・設計者 三位一体

中道哲也 *Tetsu Yanakamichi*

株式会社 スタジオパートナー

1963年生まれ。25歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立、2003年現事務所に至る。一級建築士。

施工



巧細川組
株式会社

建て主さんの声

このアガサスの完成紹介記事を読んだら、建てようと思った。最初はハウスメーカーなどを回っていたのですが、自分たちの理想をかたちにできる、と思い建てようネットで建築家さんとのづくりを決めました。中道さんは私たちのイメージをプランに起こし、具体的にを見せてくれました。思った事もすべてかたちにしてくれたとおもいます。建材などを選ぶ時に「これでいいのかな？」と不安になる事もありましたが、中道さんやスタッフさんと気軽に話せる事で解決できました。私の希望のバイクを置くスペース、妻のこだわった内装など自分たちの頭の中にあったものがひとつひとつできていくのはとても楽しかったです。

建てようネット
【和歌山】で建てた
新築
第88号

地域の有名建築家と理想の家づくりを応援する「建てようネット」【和歌山】。優秀な建築家と信頼できる工務店の情報を集約して、建て主さんにご提供。新築からリフォームまで、憧れのマイホームが続きと誕生しています。

その中で今回紹介するのは、海南市の高台にある「北赤坂の平屋」。土地の造成工事から始まり、完成したのは昨年の9月。手掛けたのは、建てようネットではおなじみとなった株式会社「スタジオパートナー」の中道哲也さん。ただ今、御坊事務所を拠点に、和歌山事務所、田辺事務所と、地域に寄り添うコミュニティを大切に、抜群のデザイン力とさまざまな世代の、いろいろな要望に応えることができる柔軟性＆チームワークで活動の幅を広げています。

「静かな住宅地に建つ家族3人が楽しく暮らせる平屋建てのお家ですよ」と中道さん。平屋と聞くと、日本家屋の印象が強くなります。まずは平屋に見えない天井高の外観。軒をしっかりと出すことで、季節によって影響しやすい日差しを調節。和風建築に用いられていた昔ながらの知恵を生かし、デザインを新しく、居心地の良い居住空間をつくり上げています。また車が行き交う道路と、住民の方々が行き交う遊歩道に面しているため、造成当初からプライバシーに配慮したデザインを考慮。外からも中からも、圧迫感のない開放的なデザインと玄関へと続くピロティが特徴です。

「そもそもピロティとは、外部空間であり、大ききや間口の違いで用途に広がりができます。北赤坂の場合は、建て主さんの要望により、趣味のバイクを収納できるスペースを確保。十分な広さで作業スペースにもなります。さらにこだわりは、リビングからキッチン、ダイニング、和室・洋室まで、すべての面に接する贅沢なパティオ(中庭)。各フロアにたっぷり自然光を届け、外との繋がりでそれぞれの空間に視覚的ゆとりも生まれています。最大の特徴は、共働きの奥様を助けるパティオを巻き込んだ家事動線。キッチンの真横に、広さを設けた洗面&家事室を配置。当然、パティオに面しており、天気の良い日は洗濯物を専用の外干しスペースへ。雨の日は、家事室が室内干しの空間へと早変わりします。

「室内は奥様が中心となり、打ち合わせを重ねました。古い家具を上手にあしらひ、センスとバランスで完璧なオリジナルが完成。約35坪の平均的な広さながら、間取りとデザインの工夫で、趣味の良い快適空間に仕上がっています。」